

エルワイトイル取り扱い注意事項と重要警告事項

取り扱いに当たっての危険度をご理解いただくためにマーク表示を致します。 **▲警告** 人身事故になる恐れのあるもの **注意** 留意事項

【選択上のご注意】

- 注意** 建築基準法、消防法によって使用ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。
- 注意** 下地からの湿気の上昇が予想され、しかも改善の余地がない場所での使用は避けてください。
- 注意** 塩ビタイルは熱に対して弱いため、摩擦熱や火花の飛び散りが予想される場所での使用は避けてください。
- 注意** 現物見本や施工例画像と製品の色が若干異なる場合があります。ご了承ください。
- 注意** 淡色・無地調の床材ほど濃色に比べて汚れが目立ち易くなります。また、フラットな表面形状に比べてエンボスが深いほど汚れが残りがちになります。濃色やフラットな表面形状は傷が目立ち易くなります。
- 注意** 暗所や高温多湿、アルカリ性雰囲気等の環境では床材の変色を招く可能性があります。これらの条件が揃わないように注意するとともに、そのような箇所に施工する場合は暗色系の色を選定してください。
- 注意** 経済の変動、品質の改善により、やむを得ず価格及び仕様を変更させていただく場合があります。

【運搬ならびに保管上のご注意】

- ▲警告** 重量物ですので取り扱いには充分ご注意ください。落下や乱暴な取扱いは製品の破損を招くだけでなく、人身事故や器物破損などを招く場合があります。
- 注意** 保管に関しては梱包を解かず、平坦な場所にしてください。積載は70cmまでを限度とし、積み過ぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水などによる水濡れは、変形、変退色、変質の原因となりますので避けてください。

【施工上のご注意】

- 注意** 梱包紙に記載されている品番、ロット、数量をご確認の上、施工を開始してください。同一床面上では同ロットで仕上げてください。
- 注意** 下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。凹凸や湿気がある場合は、目地すきや突上げ、膨れなどを招く可能性があります。
- 注意** 床タイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色差のように見えることがあります。下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良や汚染を発生させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始してください。
- 注意** 床タイルは施工の際は、室温になじませてから施工してください。室温とタイルに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、タイルの反り、突上げ、はがれなどが生じることがあります。
- 注意** 自然素材が持つ色柄の変化を表現しているため、タイルに抑揚感がありますが、この不均一さが自然の雰囲気感を高めます。接着前に仮敷きをして全体のバランスを調整の上施工してください。
- 注意** 接着の際は、床タイルの指定接着剤を使用し、接着剤指定のクシ目ゴテで均一に塗布し十分に圧着してください。
- 注意** コンパネ・木質系下地に使用の際は、下地継ぎ目部の段差を十分に補修してください。
- 注意** 施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- 注意** 施工後はローラーで全面を圧着してください。圧着不良は、接着不良につながり、後日、床タイルの反り、突上げ、はがれなどが生じることがあります。
- 注意** 施工後、接着剤が充分硬化するまでは、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化は避けてください。特に冬期は接着剤の硬化が遅いので充分な養生期間をとってください。
- 注意** 施工直後に養生シートを使用した場合、床タイルとシート間に結露水や水蒸気や溶剤蒸気などがこもり、床タイルの反り、突上げが生じる可能性があります。養生シートは、接着剤が充分硬化してから使用してください。

- ▲警告** 有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気に心掛け、有機溶剤作業主任者立会いのもとで行ってください。有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- ▲警告** 施工後の残材処理は、燃やすと有毒ガスが発生するため、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包ケースなど焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。

【維持管理ならびに使用上のご注意】（お施主さまに必ずお伝えください）

- ▲警告** 濡れたり砂が付着した状態では、滑りやすく転倒事故を招く可能性があります。泥除けマットなどで雨水や土砂の持ち込みを防ぎ、持ち込まれた時には早急に除去するようにしてください。
- ▲警告** はがれ、反り、膨れ、割れなどが生じた場合は、早急に補修してください。放置しておくことで全体に影響が及び美観を損なうほか転倒事故の原因ともなります。
- 注意** 接着剤が充分硬化するまでは直射日光や冷暖房による急激な温度変化、重量物の運び込みなどは避けてください。突上げ、目地すき、膨れなどを発生させる可能性があります。
- 注意** 長時間使用しない部屋では、換気を心掛けてください。空気の滞留は結露を招き、カビや異臭の発生またははがれ、反り、膨れ、突上げなどの原因となります。
- 注意** トイレに施工する場合、汚れを放置すると変色を招く可能性がありますので、こまめに掃除をしてください。
- 注意** 床タイルの製造時に、初期汚れ防止の為、表面にコーティング加工を施しております。この為、防汚性に優れ、一般的に汚れが付着しても簡単に除去できますが、美しさを保つ為に定期的なワックス塗布をお願いします。
- 注意** 床タイルのワックス塗布は、樹脂ワックスを使用願います。特殊コーティングとワックス塗布により床タイルが美しく保たれ、汚れた場合もワックスを除去するだけでヒールマークや汚れも落とすし易くなります。
- 注意** ノンワックスコーティング対応品はワックスを塗布しなくてもご使用いただけますが、ご使用の状況に応じてワックスメンテナンスに切り替えることも可能です。
- 注意** メラミンタイルはワックス液が密着しないため、ワックスメンテナンスは行わないでください。
- 注意** 長時間直射日光が当たる場所では、変退色する可能性があるため、カーテン、ブラインドなどで日除けをしてください。
- 注意** 暖房機の熱風が直接あたらないようにしてください。変退色する可能性があります。
- 注意** 床タイルは、熱によって変退色・溶融する可能性があります。タバコや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けてください。
- 注意** 施工後しばらくは、商品(素材固有)の臭いや接着剤などの臭いが残る場合がありますので換気に心掛けてください。
- 注意** 化学薬品や強い作用をもつ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。
- 注意** 家具やハイヒールなどの局部荷重によって圧痕が残る場合があります。
- 注意** 重量物や車輪のしごきによって、床タイルの表面を傷つけたり、はがれを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないように注意してください。
- 注意** ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、染料、防錆剤、防虫剤などによって床タイルが汚染され変退色を招く可能性があります。床タイルが直接触れないように、保護シート(アルミ製、ポリエステル製)を敷いてください。またテープ(ガムテープ、布テープ等)は、ゴム汚染と同等の汚染が生じることがありますのでアクリル系接着剤のテープをご使用ください。
- 注意** 床タイルは、水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床タイル自体の変質・変退色や、施工後の反り・膨れ・はがれ・目地すきなどを招く場合があります。選択・施工・維持管理の際は充分ご注意ください。

リリカラ接着剤一覧

タイプ 品名	ウレタン樹脂系溶剤形		アクリル樹脂系エマルジョン形		合成ゴム系ラテックス形	変成シリコーン樹脂系
	リリカラセメントU	リリカラセメントAC	RA-11	リリカラビールアップ	リリカラ巾木糊エコ	リリカラセメントR
荷姿						
仕様	91272 16kg / 91273 5kg	91335 15kg / 91336 3kg	91395 18kg	91149 18kg / 91150 3kg	91337 9kg / 91338 3kg	91339 3kg
標準施工可能面積	約45㎡/16kg・約14㎡/5kg	約50㎡/15kg・約10㎡/3kg	約50㎡/18kg	約120~180㎡/18kg・約20~30㎡/3kg	約27㎡/9kg・約9㎡/3kg	約10~12㎡/3kg
用途	エルワイトイル、メラミンタイル、框	エルワイトイル	エルワイトイル、メラミンタイル	レイグラントイル	ソフト巾木	エルワイトイル、框
適用工法	一般工法/耐湿工法	一般工法	一般工法	ビールアップ工法	一般工法	一般工法
適用下地	セメント系モルタル、コンクリート、乾燥下地	セメント系モルタル、コンクリート、乾燥下地(水分指標8%以下)	セメント系モルタル、コンクリート、合板等の乾燥下地(水分指標8%以下)	セメント系モルタル、コンクリート、OAフロア、合板等の乾燥下地(水分指標8%以下)	セメント系モルタル、コンクリート、コンパネ、石膏ボード下地	セメント系モルタル、コンクリート、コンパネ、石膏ボード下地、乾燥下地(水分指標8%以下)
オープンタイム	20℃ 15~25分	20℃ 10~20分	20℃ 10~15分	20℃ 10~20分	—	20℃ 30分
貼付可能時間	20℃ 15~85分	20℃ 10~60分	20℃ 10~55分	—	20℃ 5~20分	20℃ 30~60分
特記事項	JIS F☆☆☆☆ 火気厳禁 危険物第四類第一石油類	JIS F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JAIA F☆☆☆☆	JIS F☆☆☆☆	JAIA F☆☆☆☆ 火気厳禁 第二類可燃性固体